

「真庭市図書館みらい計画(真庭市図書館基本計画・子ども読書活動推進計画)」(案)に対する意見と市の考え方

番号	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え
1		<p>市内全館での「読書通帳」の導入を切望します。当面は必ずしも"通帳"でなくとも実績一覧を希望者にプリントアウト願いたい。「読書通帳」が完成すると老若男女を問わず図書館へ通う大きな励みになると思います。</p>	<p>現在は中央図書館にのみ「読書通帳機」を導入しています。地区図書館で借りていただいた資料の記録は、中央図書館に来館していただく通帳の発行や記帳が可能です。</p> <p>本計画策定に当たって開催した「図書館そだて会議」においても、読書通帳機を中央館以外の図書館にも導入してほしいとの声が聞かれました。</p> <p>限られた予算のなかで、現状では全館に読書通帳機を導入することは困難ですが、ご提案いただいたような代替策も参考に、今後検討していきたいと考えております。</p>
2	<p>(1)公共図書館としての存在基盤の整備 9ページ</p>	<p>アクションプラン「(1)公共図書館としての存在基盤の整備」について、「基本方針」「基本方針を具体化する計画」「めざす姿」とあるが、「めざす姿」についてもう少し具体的に示す方がよいのではないかと。</p>	<p>今後市民と共に考え、図書館を育てていくうえで、「めざす姿」を初めから具体的に示しすぎてしまうと自由な発想を阻害すると考え、あえて具体的に示していません。</p>
3	<p>(2)子どもの学びへの能動的な貢献(子どもの読書活動推進計画) 13ページ</p>	<p>アクションプラン「(2)子どもの学びへの能動的な貢献」の【学校図書館の機能強化】のめざす姿に「学校司書による授業参画が充実している」とありますが、学校図書館を使った様々な活動には専任の学校司書が必要です。「基本方針を具体化</p>	<p>真庭市では合併の翌年平成18年には5名の学校司書を配置していました。学校図書館が活用され、児童生徒の読書や学習支援を行うためには学校司書の存在が欠かせないと考え、工夫を重ね少しずつ増員し、現在は小中学校全26校の学校図書館に9人の学校司書を</p>

		<p>する計画」でハード面の導入は計画されていますが、専任の学校司書の配置を盛り込むことで、学校図書館が活発に活用されてめざす姿に近づくと考えられます。</p>	<p>配置しています。しかしながら、1人が最大4校を兼務する状態が生じていることなど、未だ十分な状況ではないことは認識しています。13ページ【学校図書館の機能強化】の「基本方針を具体化する計画」の中に「学校司書配置のあり方を検討」と追加し、今後も学校図書館の充実に努めていきます。</p>
4	<p>(2)子どもの学びへの能動的な貢献(子どもの読書活動推進計画) 15ページ</p>	<p>基本方針の【高校生や10代の人】については、10代の対象として高校生を視野に計画を立てていますが、一般的にヤングアダルト世代は中学生・高校生を指します。この(2)全体から中学生に対するサービスがほとんど見えません。また、県立高校は県立図書館から資料の貸出やレファレンス等のサービスを受けることができます。地元の市立図書館が近隣の県立高校と連携を図ることはよいことだと思いますが、市立図書館は市内の小中学校を支援することが責務です。もう少しこのことについて視点を当てた方がよいのではないのでしょうか。</p>	<p>アクションプラン「(2)子どもの学びへの能動的な貢献」の子どもとは、「子どもの読書活動の推進に関する法律(2001年法律第154号)」に基づき、0歳からおおむね18歳までの人たちを対象としており、中学生に対するサービスは13ページに示した基本方針【学校図書館の機能強化】【学校図書館との連携】【子どもの学びを支援】において記述しています。</p> <p>ご指摘のとおり、市立図書館は市内小中学校への支援を責務とすると認識しております。本計画では、アクションプランのうち優先的に取り組むものに網掛けをしており、「(2)子どもの学びへの能動的な貢献」においては、基本方針【学校図書館の機能強化】【学校図書館との連携】【子どもの学びを支援】【教員支援・授業支援】を優先的に取り組むものとして位置付けています。</p> <p>県立高校との連携については、市内の高校生にとって一番身近にある図書館として、県立図書館とは違った角度から連携を図っていきたいと考えています。</p>

5	全体	計画を推進する人員の不足(既存の図書館の維持管理が精一杯では)	<p>ご指摘のとおり、計画を推進し、継続的・長期的な視点を持って図書館を運営する職員の確保と育成が必要だと考えております。</p> <p>アクションプラン「(1)公共図書館としての存在基盤の整備」の12ページ【人材育成】を【人材の確保・育成】とし、「継続的・長期的な視点を持って図書館を運営する職員を確保、育成します。」の文言を追加します。</p>
6	全体	図書館と外部とをつなぐ人材の確保・育成(地域おこし協力隊・民生委員・図書館サポーターズの充実)	<p>市が設置・運営する図書館として責任を持って市民の知る自由や学ぶ権利を保障し、個人の自立と地域自治を支えることを前提として、本計画の実現にあたっては図書館職員のみで取り組むのではなく市民や庁内他部局、地域の団体などとの連携・協働により進めていきます。</p> <p>ご指摘のとおり20ページのアクションプラン「(5)市民が繋がる地域交流拠点創出」【市民参画・市民協働】の「基本方針を具体化する計画」に文言を加え「・多彩な人材を巻き込み、市民発案によるイベントやプログラムの開催支援などを行う」とします。</p>
7	(2)子どもの学びへの能動的な貢献(子どもの読書活動推進計画) 13ページ	学校図書館蔵書のデータベース化は賛成(早く進めてほしい)	2021年度と2022年度の2年間で、地域の方々のご協力をいただきながら、市内小中学校全校の学校図書館蔵書のデータベース化を進めていく予定です。

8	<p>(1)公共図書館としての存在基盤の整備</p> <p>【デジタルサービス】</p> <p>10 ページ</p>	<p>市内図書館の CD・DVD をデータベース化して、どの図書館からも借りられるようにしてほしい</p>	<p>現在、図書館所蔵の CD・DVD は、図書資料のように図書館のホームページで所蔵検索をすることができません。今後は、ご提案のとおり図書館のホームページから検索ができるようデータベース化を行い、より利用しやすくしていきます。</p>
9	<p>(1)公共図書館としての存在基盤の整備</p> <p>【広報・発信】</p> <p>12 ページ</p>	<p>市民のほとんどの人が図書館は本を借りて帰る場所と思っています。それ以外の活用をもっと広く広報してほしいと思います。</p>	<p>本計画策定にあたり開催した「図書館そだて会議」におきましても、図書館がどんなところなのか、何ができるところなのかといったことを積極的に発信していくべきであるとのご意見をいただきました。今後は、「図書館だより」や SNS、イベントなどの取り組みにより、図書館が本を借りるだけのところではないことを知っていただけるよう努めます。</p> <p>同時に、現在図書館を活用されている方々からも積極的に発信していただけるように働きかけを行っていきます。</p>
10	<p>(1)公共図書館としての存在基盤の整備</p> <p>【デジタルサービス】</p> <p>10 ページ</p>	<p>紙媒体での資料提供を充実せず、今のデジタル化への動きはどうかと思う。</p>	<p>今後社会のデジタル化がさらに進んでも、図書館において紙媒体の資料が重要であることは、変わることはないと考えています。しかしながら、コロナ禍や災害などのために外出が制限されるような場合、家にいながら適切な情報を手に入れたり、気持ちが和むような資料に触れられるようにしておくことが必要だと考えます。そのためにも、図書館では紙の資料とデジタルの資料</p>

			それぞれの特長を活かした収集、提供をしていきます。
11	(5)市民が繋がる地域交流拠点創出 【居場所づくり】 20 ページ	北房図書館について ・複合施設のため、図書館を利用したい方には少し使いづらいものになっているかも。 ・面積的に限りがあるので閲覧者と学習者が同一テーブルを使うしかななく少し不便。複合施設という利点を利用して施設内の別の部屋も利用できれば良いと思う。	北房図書館に限らず、振興局などとの複合施設になっている地区図書館では、十分なスペースが確保できていないところがあります。そのため、ご指摘のとおり、図書館の占有スペースにこだわらず、複合施設全体を活用していきける工夫をしていく必要があると考えております。
12	(2)子どもの学びへの能動的な貢献(子どもの読書活動推進) 14 ページ 【図書館から外(地域)へ】	ブックるんの各学校や放課後児童クラブへの運行で本を借りる楽しさを伝えられたらよい。	自動車文庫は「図書館から遠い地域の方々へ本を届ける」ことを目的として巡回しています。巡回先は、必要に応じて3か月ごとに見直しを行っています。現在は、市立図書館から遠い小学校や放課後児童クラブも巡回場所に含まれています。 本計画のアクションプラン「(2)子どもの学びへの能動的な貢献」において、市内全校の学校図書館の機能強化をめざしています。このことにより子どもたちには、学校司書の支援を受けながら身近な学校図書館を活用し、読書の楽しさを知り、調べる力を身につけてほしいと考えています。

13	(1)公共図書館 としての存立 基盤の整備 【広報・発 信】 12 ページ	みんなの本を大切にすることを 知らせる。	各図書館から様々な取り組みの情報 発信とともに、図書館利用マナー向上 等の呼びかけも引き続き行っていきま す。
----	--	-------------------------	--